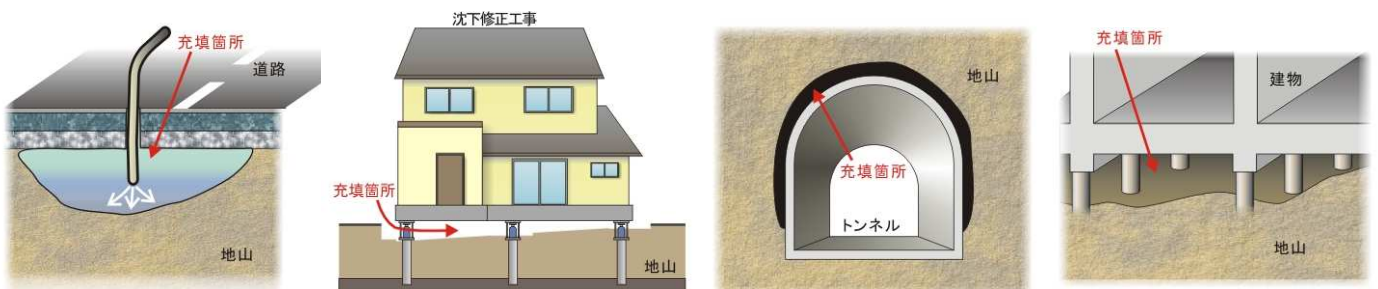


セメントが、高性能な充填材に変身！
手軽に！確実に！狭い空洞・奥まった空隙を充填！

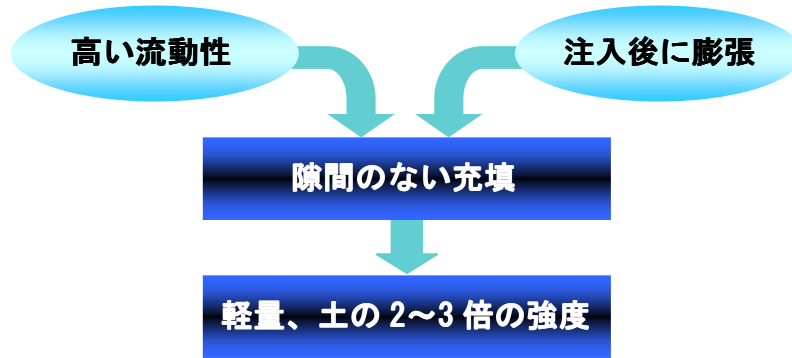
小規模の空洞充填に アドサーモ

アドサーモは、優れた充填性と施工性を持つ空洞充填材です。実績のあるサーモコンと同様に「高い流動性」と「注入後の膨張」によって、狭く奥深い空洞でも高い充填性が得られます。さらに、アドサーモは、ハンドミキサーなどの小型設備でセメントと混ぜるだけで製造でき、大幅に省力化ができるため、使いやすく機動性に優れています。点在している空洞の充填、作業スペースが狭い現場、確実な充填が求められる現場に最適です。

アドサーモの主な用途



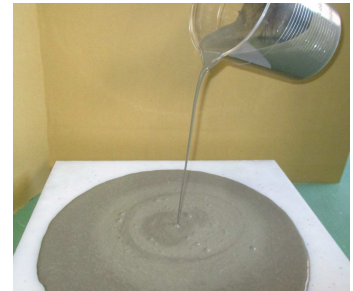
- ・ 道路下空洞の充填
- ・ 沈下修正工事の隙間充填
- ・ トンネル背面空洞の充填
- ・ 建物床下の地盤沈下による空洞充填
- ・ 擁壁背面空洞の裏込め
- ・ 法面吹付背面空洞の充填
- ・ 建設基礎の埋戻し
- ・ 建物の背面の埋戻し
- ・ 護岸の裏込め
- ・ 地中埋設管の埋戻し
- ・ 地下ピットの埋戻し
- ・ 小規模陥没孔の充填
- ・ その他、狭い隙間や複雑形状の空洞充填



● 高い流動性で、狭い隙間の隅々に入ります。

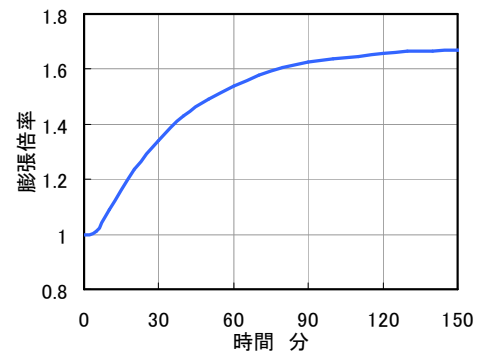
流動性が非常に高く、しかも水浮きや材料分離がないセメントスラリーになるため、狭い隙間にも流し込みができます。

スラリーの流動性

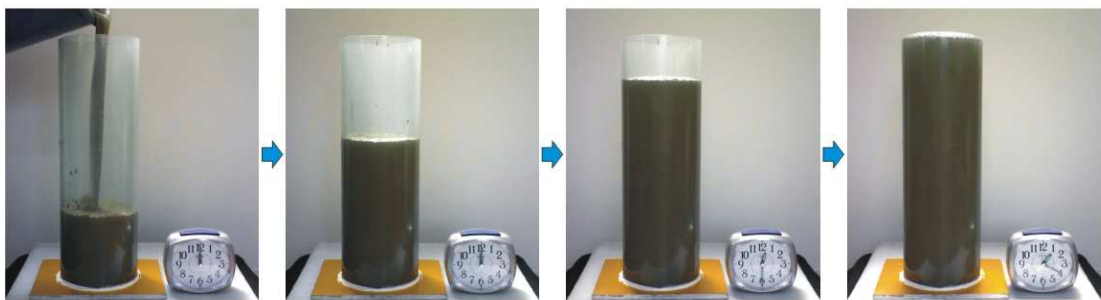


● 注入後に膨張して、充填性を高めます。

注入した後で発泡が始まり、セメントスラリーが膨張します。1~3時間で1.6~1.7倍に膨張します。膨張中は流動性があるため、周囲に圧力がかかることなく、隙間を埋めるように充填していきます。



膨張の様子



注入中

注入直後

膨張中

膨張終了

注) 気温や水温によって、膨張する時間が変わりますが、膨張量は変わりません。

● 土の約1/2の軽さで、2~3倍の強度になります。

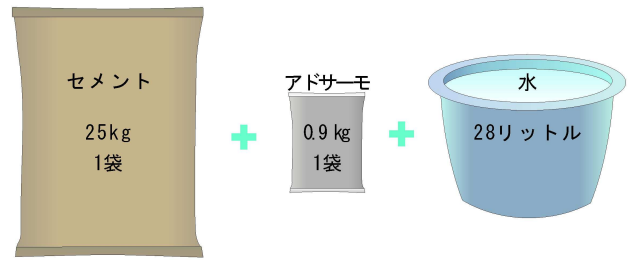
発泡によって無数の微細な気泡が均質にでき、軽量化した硬化体になるため、地山への荷重負担を大幅に低減できます。また、軽量でありながら通常の土の2~3倍の強度を持っています。

硬化体の軽量性



● アドサーモに水とセメントを混ぜるだけ。

アドサーモは市販のセメントと水を混ぜるだけで製造できます。セメントは普通セメントのほか、早強セメントも使用できます。



● 計量手間が省けます。

アドサーモは、セメント 25kg 1袋に対して適切な配合に計量してあるため、計量手間が省けます。

● ハンドミキサーや小型ミキサーで製造可能。

大掛かりな設備を必要とせず、ハンドミキサーや高速グラウトミキサーで簡単に製造できます。

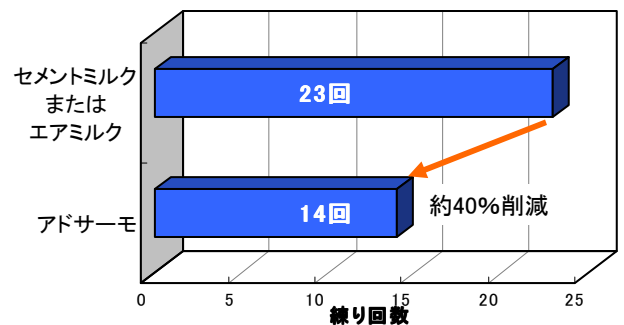
作業スペースが狭い現場、注入箇所が複数ある現場などに最適です。



● 練り混ぜ量を大幅に削減できます。

アドサーモは、注入後に約 1.6~1.7 倍に膨張するため、練り混ぜ量を約 40%も削減できます。

充填量1m³分を練る回数(440容量練り/回)



● 保管も運搬も省スペース。

アドサーモは、セメントを分けることにより、コンパクト化しました。現場近くでセメントを入手すれば、運搬も楽になります。また、備蓄・保管する場合も省スペースです。

包装形態・荷姿

● 包装形態

ビニル袋 (0.9kg/袋、B5 サイズ)

品質確保のため、内容量を多少変更することがあります。

● 荷姿

- ・ 1m³用ダンボール (内容物：上記ビニル袋体 14 袋入り)
- ・ 2m³用ダンボール (内容物：上記ビニル袋体 28 袋入り)

上記 1m³、2m³は、標準配合で製造した場合の膨張後の容積を示しています。



製造方法

※ 製造の際には、別紙「アドサーモの使用方法」を参照下さい。

推奨機具

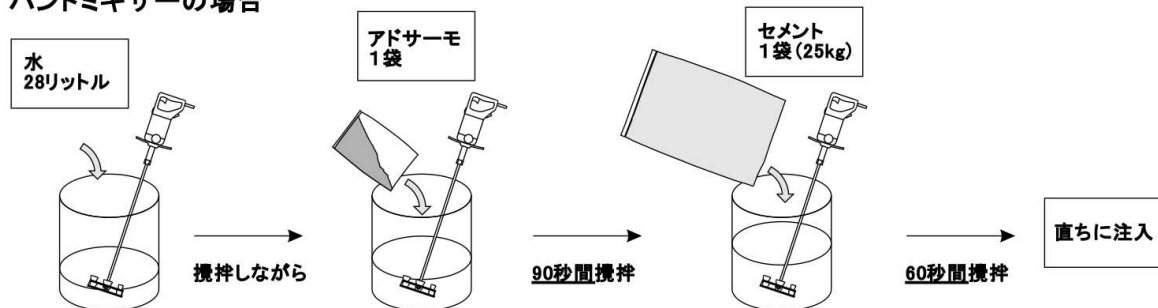
- 1袋ずつ練る場合
 - ・ハンドミキサー（回転数 1000rpm 以上でディスク型攪拌羽根のものをご使用下さい。）
 - ・60～70 リットル容量のポリバケツ
- 2～3袋まとめて練る場合
 - ・100 リットルまたは 150 リットルの高速グラウトミキサー

配合と量

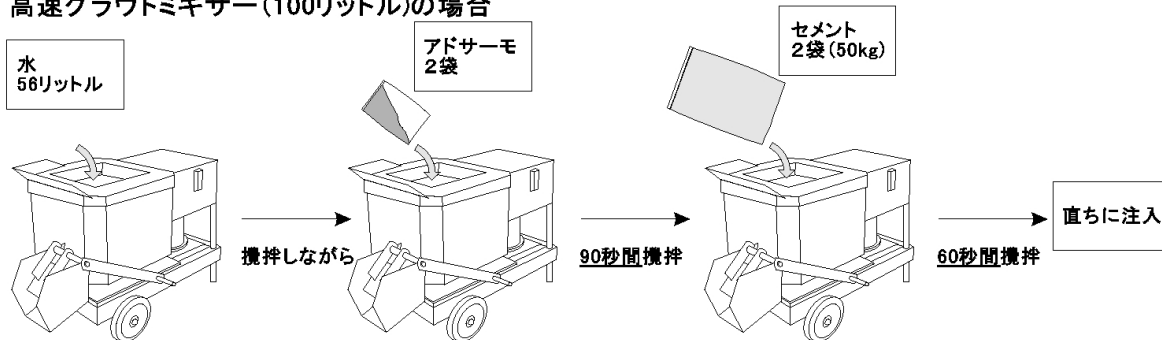
	水	アドサーモ	セメント	練上り量	膨張後の体積
ハンドミキサー	28 ℓ	1 袋 (0.9kg)	1 袋 (25kg)	42～47ℓ	71～77ℓ
100ℓ容量グラウトミキサー	56 ℓ	2 袋 (1.8kg)	2 袋 (50kg)	84～94ℓ	142～154ℓ
150ℓ容量グラウトミキサー	84 ℓ	3 袋 (2.7kg)	3 袋 (75kg)	126～141ℓ	213～231ℓ

混練方法

ハンドミキサーの場合



高速グラウトミキサー(100リットル)の場合



物性（試験値 標準配合、20℃での打設・養生）

項目		数値		備考
混練時	スラリー密度	1.1～1.3	gf/cm ³	混練直後
	フロー値	350	mm以上	混練直後。JHS A 313に準拠。
	混練直後の空気量	10～25	%	
	膨張後の空気量	45～55	%	
硬化後	材料密度	0.7～0.8	gf/cm ³	封かん養生、28日材齢
	一軸圧縮強度	0.8～1.3	N/mm ²	JIS A 1108Iに準拠。

SANSOH Tech

サンソー技研株式会社

〒451-0025 名古屋市西区上名古屋1-14-14

TEL 052-508-8451 FAX 052-508-8452

URL <http://sansoh-tech.com>

- 本製品の仕様は予告なしに変更することがありますのでご了承願います。
- 本資料に記載された試験値は、弊社の実験結果に基づくものですが、各種条件により実際の現場結果を確実に保証するものではありません。